

# 傷病名コードの利用の推進及び保険医療機関における 利点（診療報酬の評価等）について

審査運営部  
コンピュータチェック課

- 1 未コード化傷病名の現状
- 2 傷病名コードを記録する利点
- 3 傷病名コードで記録可能な事例（未コード化傷病名の記録が多い件数上位20）
- 4 未コード化傷病名の改善に向けたお願い

【参考1】未コード化傷病名に係るレコード記録数（全国）

【参考2】未コード化傷病名割合（都道府県別）

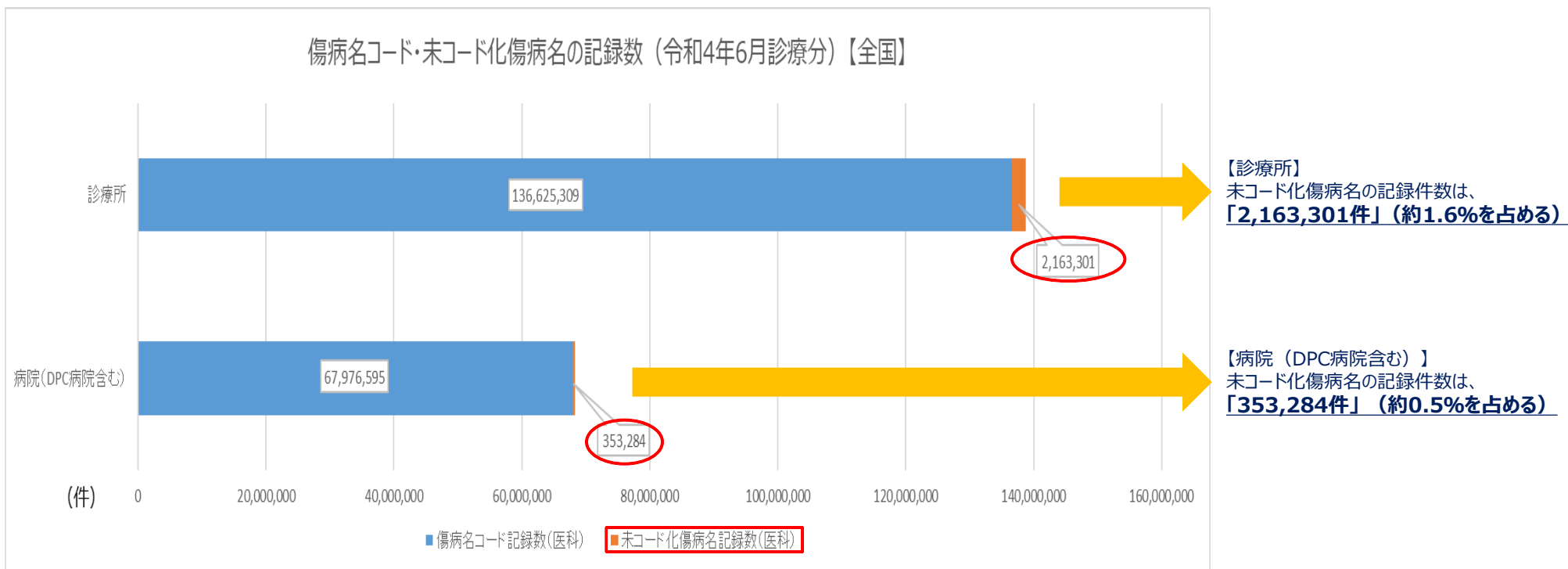
# 1 未コード化傷病名の現状

## 診療所・病院（DPC病院含む）【全国】

- 未コード化傷病名の記録件数については、全国の記録件数のうち、約1.2%※を占めており、**未だに未コード化傷病名が用いられているところ**です。

※傷病名コード記録件数：204,601,904

未コード化傷病名記録件数：2,516,585 （式） $2,516,585 \div 204,601,904 = 1.229 \dots$  （約1.2%）



## 2 傷病名コードを記録する利点

### 診療所・病院（DPC病院含む）

- 傷病名マスターに掲載されている傷病名コードを用いることによって、保険医療機関様のレセプト作成業務において文字列での記録（ワープロ入力）が不要になり、レセプト作成業務の負担軽減が図られると考えます。

事務連絡  
令和4年3月25日

地方厚生（支）局医療課 御中

厚生労働省保険局医療課

傷病名コードの統一の推進について

診療報酬明細書に記載する傷病名については、原則として「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」（令和2年4月28日付保発 0428 第3号）別添3に規定する傷病名を用いることとされているところであるが、定められた傷病名コードにない名称が使われていることが多い状況にあることから、「傷病名コードの統一の推進について」を取りまとめたところである。

今般、傷病名コードの整備を行ったことに伴い、同義語の追加・変更があることから、傷病名コードで規定する傷病名と同一の傷病でありながら、異なる傷病名を用いて請求がなされているケースについて別添のとおり見直すこととしたので、傷病名の記載及び傷病名コードの記録の際にはこれを参照の上、原則として傷病名コードに記載されたものを用いるよう関係者に周知願いたい。

名コードの記録の際にはこれを参照の上、原則として傷病名コードに記載されたものを用いるよう関係者に周知願いたい。

【引用元】  
令和4年3月25日付け厚生労働省保険局医療課事務連絡「傷病名コードの統一の推進について」

## 2 傷病名コードを記録する利点

### 病院（DPC病院含む）

- データ提出評価加算については、未コード化傷病名の割合が10%未満の場合（その結果を記録し保存している場合も含む）に加算が算定できることから、**傷病名コードを記録することにより当該加算を算定することが可能**と考えます。

### ■ 医科点数表告示：A245 データ提出加算 注3

注3 別に厚生労働大臣が定める施設基準〔[基本診療料の施設基準等 第八/三十五の五/ \(3\)](#)〕を満たす保険医療機関に入院している患者については、提出データ評価加算として、40点を更に所定点数に加算する。

### ■ 医科点数表通知：A245 データ提出加算 留意事項通知（8）

(8) 「注3」に規定する提出データ評価加算を算定する場合は、当該加算を算定する月の前々月において、調査実施説明資料に定められた様式1において入力されるレセプト電算処理用の傷病名コードの総数に対する未コード化傷病名のコード（レセプト電算処理用の傷病名コード：0000999）の割合、外来EFファイルに入力される傷病名コードの総数に対する未コード化傷病名の割合がそれぞれ2%未満、かつ、医科の全ての診療報酬明細書に記載された傷病名コードの総数に対する未コード化傷病名の割合が10%未満であって、当該保険医療機関において、その結果を記録し保存している場合に、データ提出加算2の口又は4の口を算定する医療機関において算定できる。

## 2 傷病名コードを記録する利点

### 病院（DPC病院）

- 医療機関別係数の機能評価係数Ⅱに係る保険診療指数について、未コード化傷病名の割合が2%以上の場合、0.05点減算されるため、**傷病名コードを記録することにより0.05点が減算されなくなると考えます。**

令和4年度診療報酬改定 1-3 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価-②

#### 機能評価係数Ⅱの評価内容①

指数	評価内容
保険診療指数	<p>【適切なDPCデータの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「部位不明・詳細不明コード」の使用割合が10%以上の場合、0.05点減算する。</li><li>DPCデータの様式間の記載矛盾のあるデータの件数が全体の1%以上の場合、0.05点減算する。</li></ul> <p>様式1の親様式・子様式間（データ属性等（郵便番号、性別、生年月日等）、様式1とEFファイル間（入院日数入院料の算定回数の矛盾）、様式4とEFファイル（医科保険情報と先進医療等情報の矛盾）、DファイルとEFファイル（記入されている入院料等の矛盾）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>未コード化傷病名である傷病名の割合が2%以上の場合、0.05点減算する。（様式4で評価）</li></ul> <p>【病院情報の公表】 自院のホームページで公表した場合に0.05点加算する。</p> <p>（【保険診療の質的改善に向けた取組み】：令和6年度からの評価を検討）</p>
地域医療指数	<p>体制評価指数：5疾病5事業等における急性期入院医療を評価</p> <p>定量評価指数：（当該医療機関の所属地域における担当患者数） / （当該医療機関の所属地域における発生患者数）</p> <p>1) 小児（15歳未満）と2) それ以外（15歳以上）についてそれぞれ同配分で評価。</p> <p>DPC標準病院群は2次医療圏、大学病院本院群及びDPC特定病院は3次医療圏のDPC対象病院に入院した患者を対象とする。</p>
効率性指数	<p>（全DPC/PDPS対象病院の平均在院日数） / （当該医療機関の患者構成が、全DPC/PDPS対象病院と同じと仮定した場合の平均在院日数）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>当該医療機関において、12症例（1症例/月）以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</li><li>包括評価の対象となっている診断群分類のみを計算対象とする。</li></ul>

・未コード化傷病名である傷病名の割合が2%以上の場合、0.05点減算する。

【引用元】

厚生労働省ホームページ「令和4年度診療報酬改定説明資料等について（令和4年3月4日版）」

### 3 傷病名コードで記録可能な事例 (未コード化傷病名の記録が多い件数上位20) ※令和4年6月診療分データ

#### 医科・DPC

- 未コード化傷病名の記録件数のうち、最も多く記録された「双極性障害」病名について、「8850673」（傷病名コード）で記録することが適切であると考えます。

例)

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	双極性障害	3,516

※未コード化傷病名コードの「0000999」を記録し、文字列で傷病名称を記録



傷病名コード	傷病名基本名称
8850673	双極性障害

※傷病名「双極性障害」に対するコードを記録することで、「双極性障害」が傷病名称となり、文字列での記録(ワープロ入力)が不要

未コード化傷病名で記録された事例(20事例)

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	双極性障害	3,516
2	0000999	再発再燃を繰り返す逆流性食道炎	3,085
3	0000999	表在性皮膚感染症	3,048
4	0000999	COVID-19	1,953
5	0000999	急性鼻咽喉頭炎	1,777
6	0000999	不妊症	1,711
7	0000999	うつ状態	1,608
8	0000999	アレルギー性鼻炎	1,433
9	0000999	頸動脈プラーク	1,429
10	0000999	不安神経症	1,425
11	0000999	痔疾	1,402
12	0000999	神経障害性疼痛	1,375
13	0000999	頸肩腕症候群	1,355
14	0000999	末梢性神経障害性疼痛	1,345
15	0000999	糖尿病	1,337
16	0000999	2型糖尿病	1,104
17	0000999	低栄養	1,043
18	0000999	高脂血症	1,041
19	0000999	広汎性発達障害	1,020
20	0000999	高血圧症	1,011



傷病名マスター収載の傷病名コードによる記録方法

傷病名コード	傷病名基本名称
8850673	双極性障害
8850989	再発再燃を繰り返す逆流性食道炎
8850569	表在性皮膚感染症
8850104	COVID-19
8850406	急性鼻咽喉頭炎
8839791	不妊症
3004001	うつ状態
4779004	アレルギー性鼻炎
8850638	頸動脈プラーク
3000010	不安神経症
8850821	痔疾
8847489	神経障害性疼痛
7233009	頸肩腕症候群
8849550	末梢性神経障害性疼痛
2500013	糖尿病
2500015	2型糖尿病
8850882	低栄養
2724007	高脂血症
8833660	広汎性発達障害
8833421	高血圧症

### 3 傷病名コードで記録可能な事例 (未コード化傷病名の記録が多い件数上位20) ※令和4年6月診療分データ

#### 医科・DPC

- 以下の事例は、傷病名コードと修飾語コードを組み合わせることで記録することが適切と考えます。

例)

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	COVID-19の疑い	7,793

※未コード化傷病名コードの「0000999」を記録し、文字列で傷病名を記録

傷病名コード	傷病名基本名称	修飾語コード	修飾語名称
8850104	COVID-19	8002	の疑い

※傷病名「COVID-19」及び修飾語「の疑い」に対応するコードを記録することで、「COVID-19の疑い」が傷病名称となり、文字列での記録(ワープロ入力)が不要となります。

未コード化傷病名で記録された事例(20事例)

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	COVID-19の疑い	7,793
2	0000999	慢性便秘症	2,543
3	0000999	両変形性膝関節症	1,902
4	0000999	頭痛症	1,748
5	0000999	右肩関節周囲炎	1,673
6	0000999	両点状表層角膜炎	1,588
7	0000999	左肩関節周囲炎	1,560
8	0000999	左足底腱膜炎	1,524
9	0000999	右変形性膝関節症	1,517
10	0000999	右足底腱膜炎	1,480
11	0000999	症候性神経痛	1,361
12	0000999	顔面湿疹	1,354
13	0000999	再発性逆流性食道炎	1,310
14	0000999	右上腕骨外側上顆炎	1,272
15	0000999	胃癌術後	1,270
16	0000999	非がん性慢性疼痛	1,263
17	0000999	両視神経乳頭陥凹拡大	1,237
18	0000999	左変形性膝関節症	1,218
19	0000999	乳癌術後	1,066
20	0000999	脳梗塞後	1,029

傷病名コード及び修飾語コードの組み合わせによる記録方法

傷病名コード	傷病名基本名称	修飾語コード	修飾語名称
8850104	COVID-19	8002	の疑い
8840042	便秘症	4043	慢性
7153018	変形性膝関節症	2057	両
7840024	頭痛	8011	症
7262008	肩関節周囲炎	2056	右
3702012	点状表層角膜炎	2057	両
7262008	肩関節周囲炎	2049	左
7270066	足底腱膜炎	2049	左
7153018	変形性膝関節症	2056	右
7270066	足底腱膜炎	2056	右
8834958	神経痛	5083	症候性
6923002	湿疹	1013	顔面
5301002	逆流性食道炎	4025	再発性
8850467	上腕骨外側上顆炎	2056	右
1519006	胃癌	3088	術後
8847821	慢性疼痛	7389	非がん性
8844975	視神経乳頭陥凹拡大	2057	両
7153018	変形性膝関節症	2049	左
1749008	乳癌	3088	術後
8838708	脳梗塞	2010	後



### 3 傷病名コードで記録可能な事例 (未コード化傷病名の記録が多い件数上位20) ※令和4年6月診療分データ

#### 歯科

- 未コード化傷病名の記録件数のうち、最も多く記録された「P」病名について、「5234009」（傷病名コード）で記録※することが適切であると考えます。 ※P病名であっても、傷病名コードが傷病名ごとに分類されているため注意が必要である。（別添参照）

例)

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	P	4,957

※未コード化傷病名コードの「0000999」を記録し、文字列で傷病名称を記録

傷病名コード	傷病名基本名称
別添参照	P

※傷病名「P」に対するコードを記録することで、「P」が傷病名称となり、文字列での記録（ワープロ入力）が不要

未コード化傷病名で記録された事例（20事例）

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	P	4,957
2	0000999	根C	4,058
3	0000999	C	2,387
4	0000999	Per	757
5	0000999	G	631
6	0000999	Ce	487
7	0000999	PuI	458
8	0000999	萌出困難	442
9	0000999	P急発	340
10	0000999	MT	339
11	0000999	C3処置歯	329
12	0000999	義歯フテキ	293
13	0000999	口腔機能発達不全症	268
14	0000999	Hys	258
15	0000999	Perico	135
16	0000999	DuI	131
17	0000999	HIT	129
18	0000999	下顎水平埋伏智歯	126
19	0000999	Stom	111
20	0000999	抜歯後疼痛	92

傷病名マスター収載の傷病名コードによる記録方法

傷病名コード	傷病名基本名称
別添参照	P
8851003	根C
別添参照	C
別添参照	Per
別添参照	G
8848845	Ce
別添参照	PuI
8850584	萌出困難
別添参照	P急発
別添参照	MT
別添参照	C3処置歯
別添参照	義歯フテキ
8849508	口腔機能発達不全症
5218012	Hys
5233009	Perico
8844867	DuI
8847213	HIT
8843663	下顎水平埋伏智歯
5280017	Stom
5258014	抜歯後疼痛

### 3 傷病名コードで記録可能な事例 (別添\_同一の傷病名略称により表示する傷病名及び傷病名コード一覧)

NO	傷病名(歯科)	傷病名コード	傷病名	NO	傷病名(歯科)	傷病名コード	傷病名	NO	傷病名(歯科)	傷病名コード	傷病名
1	A A	5224011	慢性歯槽膿瘍	46	M Cダツリ	8845430	金属歯冠修復脱離	91	P u l	5220063	歯髄炎
2	A A	5225001	急性歯槽膿瘍	47	M Cハセツ	8843899	歯冠補綴物破損	92	P u l	5220064	急性化膿性歯髄炎
3	A A	5225006	歯槽膿瘍	48	M Cハセツ	8845432	金属歯冠修復破損	93	P u l	5220067	カリエスのない歯髄炎
4	A b r	5212005	磨耗症	49	M Cフテキ	8842491	歯冠補綴物不適合	94	P u l	5220069	慢性壊疽性歯髄炎
5	A b r	8834486	歯磨剤性歯磨耗症	50	M Cフテキ	8845433	金属歯冠修復不適合	95	P u l	5220070	壊疽性歯髄炎
6	A b r	8834533	習慣性歯磨耗症	51	M C過高	8843895	歯冠補綴物過高	96	P u l	5220072	急性一部性化膿性歯髄炎
7	A b r	8834839	職業性歯磨耗症	52	M C過高	8845428	金属歯冠修復過高	97	P u l	5220074	急性歯髄炎
8	A t t	5211002	咬耗症	53	M C粗造	8843896	歯冠補綴物粗造	98	P u l	5220075	急性全部性化膿性歯髄炎
9	A t t	8841102	隣接面咬耗	54	M C粗造	8845429	金属歯冠修復粗造	99	P u l	5220077	血行性歯髄炎
10	C	8830787	う蝕第1度	55	M C低位	8843898	歯冠補綴物低位	100	P u l	5220078	残髄炎
11	C	8830788	う蝕第2度	56	M C低位	8845431	金属歯冠修復低位	101	P u l	5220082	上行性歯髄炎
12	C	8830789	う蝕第3度	57	M I	5250001	欠損歯	102	P u l	5220085	慢性増殖性歯髄炎
13	C	8838389	二次う蝕	58	M I	5259011	喪失歯	103	P u l	5220089	慢性潰瘍性歯髄炎
14	C	8838390	二次う蝕第1度	59	M I	8845720	歯の欠損	104	P u l	5220091	慢性開放性歯髄炎
15	C	8838391	二次う蝕第2度	60	F	5234009	歯周炎	105	P u l	5220093	慢性単純性歯髄炎
16	C	8838392	二次う蝕第3度	61	F	5234013	単純性歯周炎	106	P u l	8843826	一部性歯髄炎
17	C	8843836	う蝕	62	F	5234016	慢性歯周炎	107	P u l	8843838	う蝕第3度急性化膿性歯髄炎
18	C	8843837	う蝕第2度単純性歯髄炎	63	F	5234028	化膿性歯周炎	108	P u l	8843842	う蝕第3度慢性壊疽性歯髄炎
19	C	8843917	セメント質う蝕	64	F	8839996	辺縁性歯周組織炎	109	P u l	8843843	う蝕第3度慢性潰瘍性歯髄炎
20	C	8843937	停止性う蝕	65	F	8843129	壊死性潰瘍性歯周炎	110	P u l	8843846	う蝕第3度慢性増殖性歯髄炎
21	C 3処置歯	5210011	根充済み	66	F	8843447	難治性歯周炎	111	P u l	8843859	外傷性歯髄炎
22	C 3処置歯	5229018	無髄歯	67	F	8843615	慢性辺縁性歯周炎軽度	112	P u l	8843860	急性一部性単純性歯髄炎
23	C 3処置歯	8830786	う蝕処置済み歯	68	F	8843616	慢性辺縁性歯周炎重度	113	P u l	8843861	急性全部性単純性歯髄炎
24	C 3処置歯	8843902	失活歯	69	F	8843617	慢性辺縁性歯周炎中等度	114	P u l	8843972	慢性閉鎖性歯髄炎
25	C 4	8830790	う蝕第4度	70	F Cダツリ	8842738	歯冠継続歯脱離	115	P u エシ	5221012	歯髄壊死
26	C 4	8834149	残根	71	F Cダツリ	8843888	歯冠継続歯人工歯脱離	116	P u エシ	8843840	う蝕第3度歯髄壊死
27	E H p	5204034	エナメル質形成不全	72	F Cハセツ	8843889	歯冠継続歯人工歯破損	117	P u エソ	5221013	歯髄壊疽
28	E H p	8835010	新生児エナメル質形成不全	73	F Cハセツ	8843893	歯冠継続歯破損	118	P u エソ	8843841	う蝕第3度歯髄壊疽
29	E r o	8834289	歯酸蝕症	74	F Cフテキ	8843890	歯冠継続歯人工歯不適合	119	F 急発	5233004	急性歯周炎
30	E r o	8834838	職業性歯酸蝕症	75	F Cフテキ	8843894	歯冠継続歯不適合	120	F 急発	8843614	慢性辺縁性歯周炎急性発作
31	E r o	8834845	食事による歯酸蝕症	76	P e r	5225012	外傷性歯根膜炎	121	R I	5206039	埋伏歯
32	E r o	8835216	持続性嘔吐による歯酸蝕症	77	P e r	5233010	急性化膿性歯根膜炎	122	R I	8842553	異常位の埋伏歯
33	E r o	8838182	特発性歯酸蝕症	78	P e r	8832354	急性根尖性歯周炎	123	R I	8843765	歯の埋伏症
34	E r o	8840717	薬物性歯酸蝕症	79	P e r	8833899	根尖性歯周炎	124	W Z	8842270	歯根のう胞
35	F r I	8844276	切歯破折	80	P e r	8840348	慢性根尖性歯周炎	125	W Z	8843885	残存性歯根のう胞
36	F r I	8844314	歯の破折	81	P e r	8843295	急性化膿性根尖性歯周炎	126	義歯フテキ	8842706	義歯不適合
37	G	5230001	急性歯肉炎	82	P e r	8843291	急性単純性根尖性歯周炎	127	義歯フテキ	8843883	義歯床粘膜面不適合
38	G	5230004	化膿性歯肉炎	83	P e r	8843612	慢性化膿性根尖性歯周炎	128	義歯フテキ	8843888	義歯床不適合
39	G	5231003	びらん性歯肉炎	84	P e r	8843839	う蝕第3度急性単純性根尖性歯周炎	129	義歯フテキ	9999527	義歯咬合面不適合
40	G	5231017	思春期性歯肉炎	85	P e r	8843844	う蝕第3度急性化膿性根尖性歯周炎	130	潰G	5231032	潰瘍性歯肉炎
41	G	5231018	歯肉炎	86	P e r	8843845	う蝕第3度慢性化膿性根尖性歯周炎	131	潰G	8843130	壊死性潰瘍性歯肉炎
42	G	5231029	単純性歯肉炎	87	P u l	5220035	全部性歯髄炎				
43	G	5231042	慢性萎縮性老人性歯肉炎	88	P u l	5220057	急性壊疽性歯髄炎				
44	G	5231044	慢性歯肉炎	89	P u l	5220058	急性単純性歯髄炎				
45	M Cダツリ	8843897	歯冠補綴物脱離	90	P u l	5220061	慢性歯髄炎				

## 歯科

- 以下の事例は、傷病名コードと修飾語コードを組み合わせることで記録することが適切と考えます。

例)

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	骨格性下顎前突症	806

※未コード化傷病名コードの「0000999」を記録し、  
文字列で傷病名称を記録



傷病名コード	傷病名基本名称	修飾語コード	修飾語名称
8843864	下顎前突症	7582	骨格性

※傷病名「下顎前突症」及び修飾語「骨格性」に対応するコードを記録することで、  
「骨格性下顎前突症」が傷病名称となり、文字列での記録（ワープロ入力）が不要となります。

未コード化傷病名で記録された事例 (20事例)

No	傷病名コード	未コード化傷病名	件数
1	0000999	骨格性下顎前突症	806
2	0000999	骨格性開咬	297
3	0000999	Cの疑い	270
4	0000999	両側顎関節症	223
5	0000999	骨格性上顎前突症	184
6	0000999	COVID-19の疑い	153
7	0000999	左側顎関節症	146
8	0000999	骨格性反対咬合	118
9	0000999	骨格性交叉咬合	115
10	0000999	右側顎関節症	105
11	0000999	薬剤性胃炎	97
12	0000999	完全埋伏智歯	85
13	0000999	両側性顎関節症	84
14	0000999	口腔機能低下症の疑い	80
15	0000999	Perの疑い	68
16	0000999	萌出困難歯	63
17	0000999	部Stom	58
18	0000999	萌出困難症	51
19	0000999	転位歯類側	40
20	0000999	左右顎関節症	37



傷病名コード及び修飾語コードの組み合わせによる記録方法

傷病名コード	傷病名基本名称	修飾語コード	修飾語名称
8843864	下顎前突症	7582	骨格性
8846479	開咬	7582	骨格性
別添参照	C	8002	の疑い
7169004	顎関節症	2058	両側
8835393	上顎前突症	7582	骨格性
8850104	COVID-19	8002	の疑い
7169004	顎関節症	2014	左側
8839021	反対咬合	7582	骨格性
5242040	交叉咬合	7582	骨格性
7169004	顎関節症	2001	右側
8830417	胃炎	7550	薬剤性
5206035	埋伏智歯	5034	完全
7169004	顎関節症	7497	両側性
8849507	口腔機能低下症	8002	の疑い
別添参照	Per	8002	の疑い
8850584	萌出困難	7177	歯
5280017	Stom (口内炎)	2059	部
8850584	萌出困難	8011	症
5243021	転位歯	7584	類側
7169004	顎関節症	2060	左右

## 4 未コード化傷病名の改善に向けたお願い

厚生労働省  
保険局医療  
課事務連絡

レセプト作  
成の効率化

診療報酬明細書（レセプト）に記載する傷病名については、

# 傷病名マスターの傷病名コードに記載されたもの

を用いていただきますようご協力をお願いいたします。

診療報酬の  
評価

※傷病名マスターは支払基金ホームページに掲載しております。

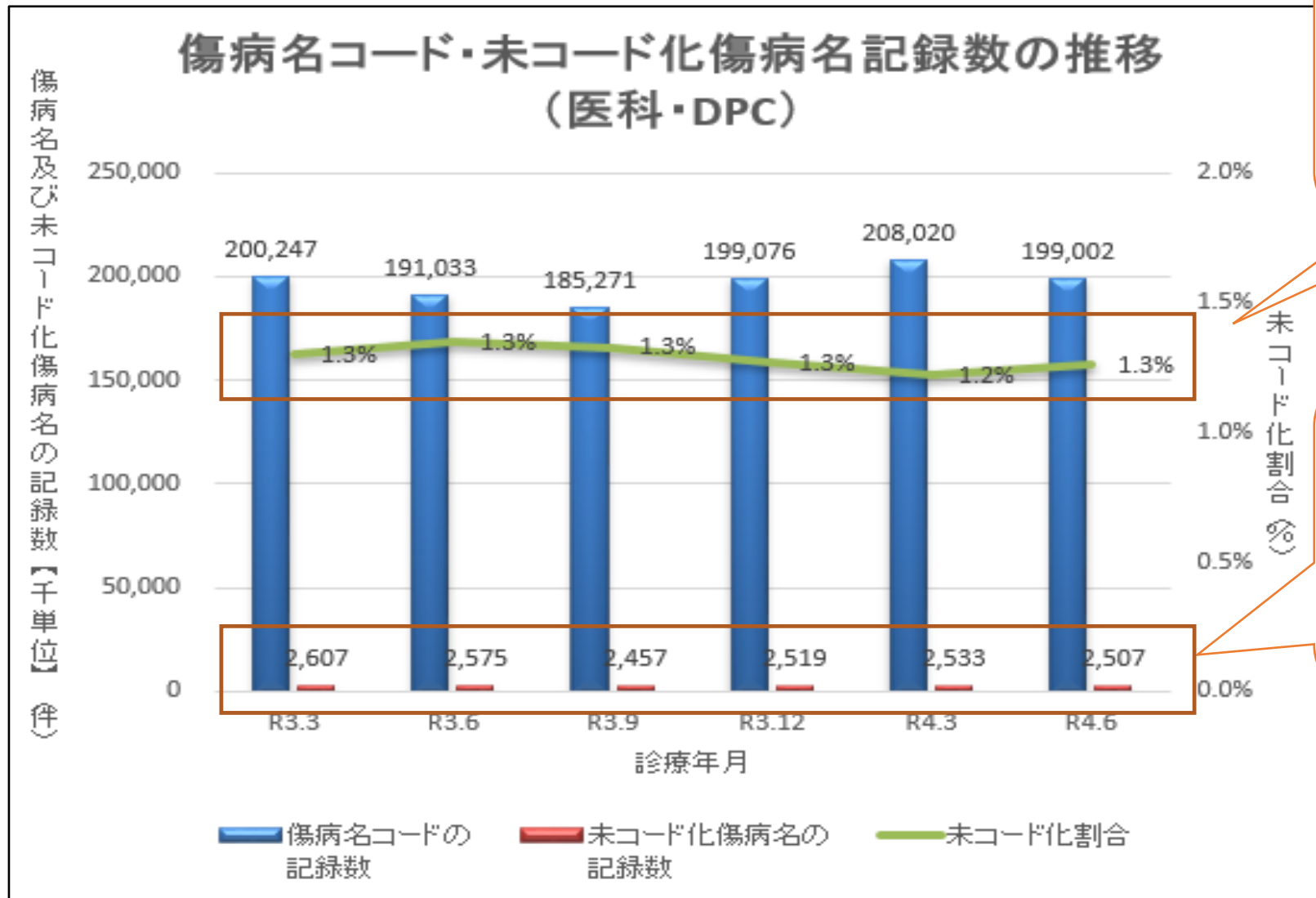
【掲載ページ】

トップページ → 診療報酬の請求支払 → 電子点数表・基本マスター → 基本マスター → **傷病名マスター**

# 【参考1】未コード化傷病名に係るレコード記録数（全国）

## 医科・DPC

全国（令和3年3月診療分～令和4年6月診療分）



傷病名コードの記録数と未コード化傷病名の記録数を比較する未コード化割合については、令和3年3月診療から**ほぼ横ばい状態**であり、未コード化傷病名の記録に改善の兆しが見られない。

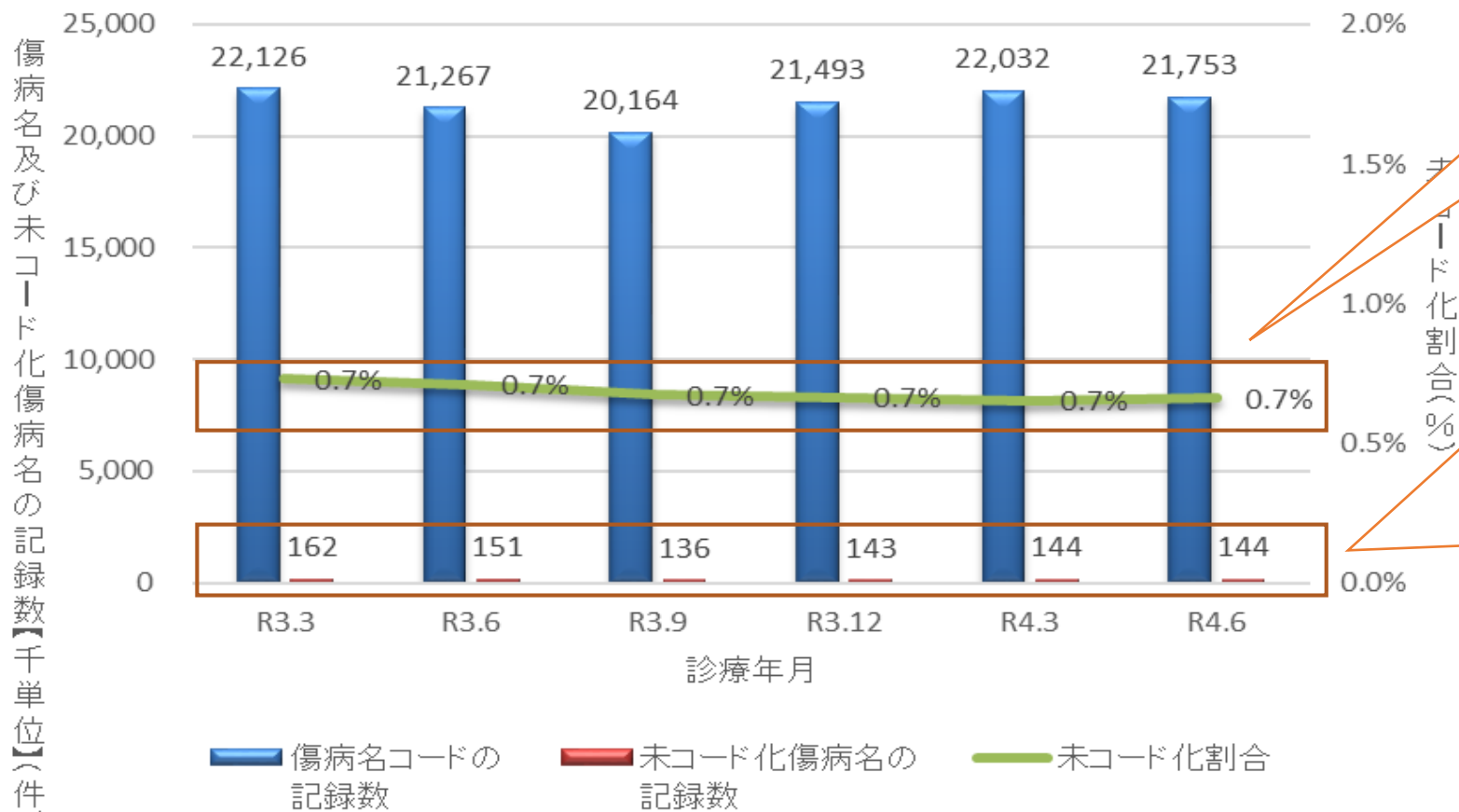
未コード化傷病名の記録数については、令和3年3月診療分の2,607件と令和4年6月診療分の2,507件を比較すると、**僅か10万件の減少**にとどまっており、未コード化傷病名の改善の兆しが見られない。

# 【参考1】未コード化傷病名に係るレコード記録数（全国）

## 歯科

全国（令和3年3月診療分～令和4年6月診療分）

### 傷病名コード・未コード化傷病名記録数の推移 （歯科）

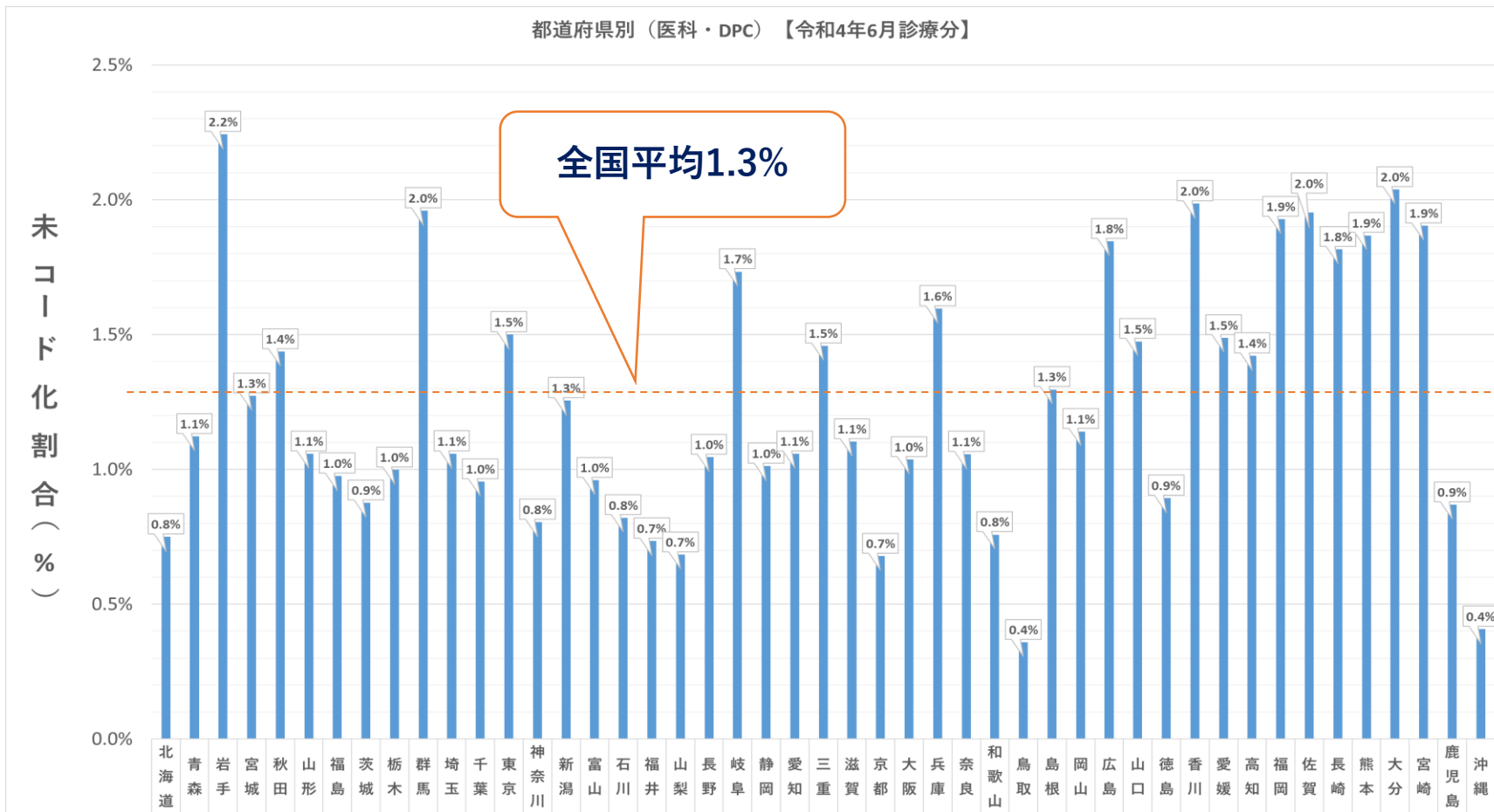


傷病名コードの記録数と未コード化傷病名の記録数を比較する未コード化割合については、令和3年3月診療から**ほぼ横ばい状態**であり、未コード化傷病名の記録に改善の兆しが見られない。

未コード化傷病名の記録数は、令和3年3月診療分の162件と令和4年6月診療分の144件を比較すると、**僅か1万8千件の減少**にとどまっており、未コード化傷病名の改善の兆しが見られない。

# 【参考2】未コード化傷病名割合（都道府県別）

## 医科・DPC



【補足】都道府県別の傷病名コードの記録数及び未コード化傷病名の記録数

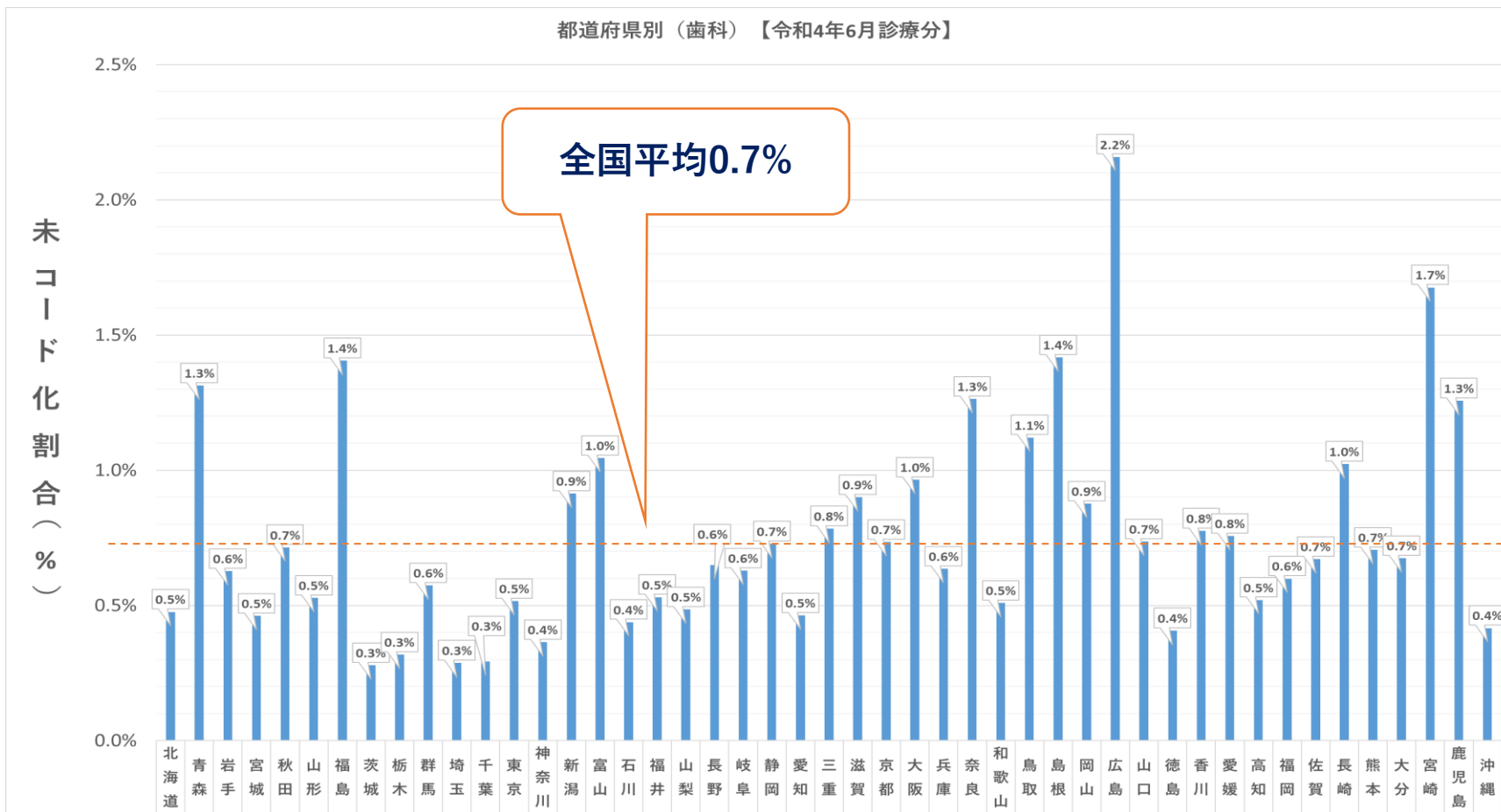
都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
傷病名コードの記録数 (千単位)	8,663	1,960	1,694	3,695	1,531	1,702	2,664	3,881	3,306	2,806	10,020	8,802	27,393	14,539	2,947	1,355	1,584	1,089	1,171	2,678	2,827	5,234	11,251
未コード化傷病名の記録数 (千単位)	65	22	38	47	22	18	26	34	33	55	106	84	411	117	37	13	13	8	8	28	49	53	119

都道府県	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
傷病名コードの記録数 (千単位)	2,470	1,995	4,128	16,688	8,771	1,988	1,451	837	1,080	2,981	4,659	1,967	1,231	1,561	2,150	1,055	9,079	1,383	2,148	2,838	1,865	1,681	2,532	2,452
未コード化傷病名の記録数 (千単位)	36	22	28	173	140	21	11	3	14	34	86	29	11	31	32	15	175	27	39	53	38	32	22	10

# 【参考2】未コード化傷病名割合（都道府県別）

## 歯科



【補足】都道府県別の傷病名コードの記録数及び未コード化傷病名の記録数

都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	岐阜	静岡	愛知
傷病名コードの記録数 (千単位)	8,190	1,675	1,756	3,902	1,399	1,706	2,774	4,308	3,147	2,963	11,809	10,594	27,741	15,954	3,392	1,627	1,597	1,131	1,237	2,927	3,661	5,769	15,563	
未コード化傷病名の記録数 (百単位)	39	22	11	18	10	9	39	12	10	17	34	31	143	58	31	17	7	6	6	19	23	42	72	

都道府県	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
傷病名コードの記録数 (千単位)	2,932	2,222	4,085	18,554	9,757	1,979	1,374	892	988	3,537	4,771	2,174	1,228	1,804	2,115	961	9,350	1,341	2,150	2,835	1,482	1,611	2,386	2,162
未コード化傷病名の記録数 (百単位)	23	20	30	179	62	25	7	10	14	31	103	16	5	14	16	5	56	9	22	20	10	27	30	9